

寶石類書

七十七卷

八十二卷

和書門		二五〇七	函號	一八三	架冊	四五
類		七	號	三	冊	冊

內閣文庫			和書
二五〇七	函號	一八三	架冊
七	號	三	冊

內閣文庫		
番號	和	25107
冊數	45 (33)	
函號	209	99



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



首石類書卷第七十七

周禮

目錄

御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

武家御府子

明治十一年贈求

寶石類書卷第七十七

調度御厨子棚
容飾具



目錄

御厨子
并覆

武家御厨子
黒棚

堆朱香篋

薰物入銀器

蓑壺

棒壺

鏡



二階棚

く派之棚

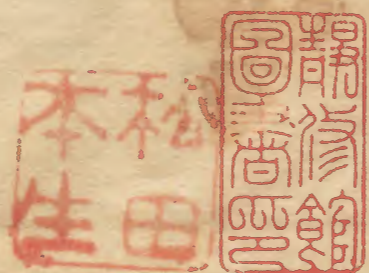
雲母壺

所々御訪

尉斗

刀子篋

唐鏡



唐匣

手巾用紙

唾巾筥

櫛

櫛机

篋子

櫛手巾

盥

浴槽

寶子火桶

髮剃

巾筥

櫛筥

櫛棚

梳

刷牙

汗手巾

匣椽

風爐

燈樓

竹燈臺

燈臺

佛文指油竹取

獸炭

行李

象形金物

夾管

唾壺

小便筒

銅燈臺

栗形

蠟燭

とり

印紙

道文

張兒

虎子

筒竹

寶石類書卷第七十七

從四位上若狹守紀宗直 輯

從六位上采女正紀宗孝 校

播磨國姫路 源長芳

調度九

御厨子 元覆

延喜内匠式 喜厨子一基
高四尺長五尺廣二尺
二寸牙床高三寸五分

榻一脚

長五尺三寸 廣二尺八寸 高八寸

牙床等料檜棟一材 下畧

江家次第

東宮御元服

喜東頭 尻風下立四尺 蔭繪御

厨子二基有二藍色紫織物覆有薄物裏并伏組等

三幅也長一丈五尺許以中幅當御厨子上左右幅

當御厨子前後 下畧

二階棚門

江家次第

東宮御元服

上畧 其西副 尻風立二階一脚其

上置 淇杯御冠 宮

淇杯 在南

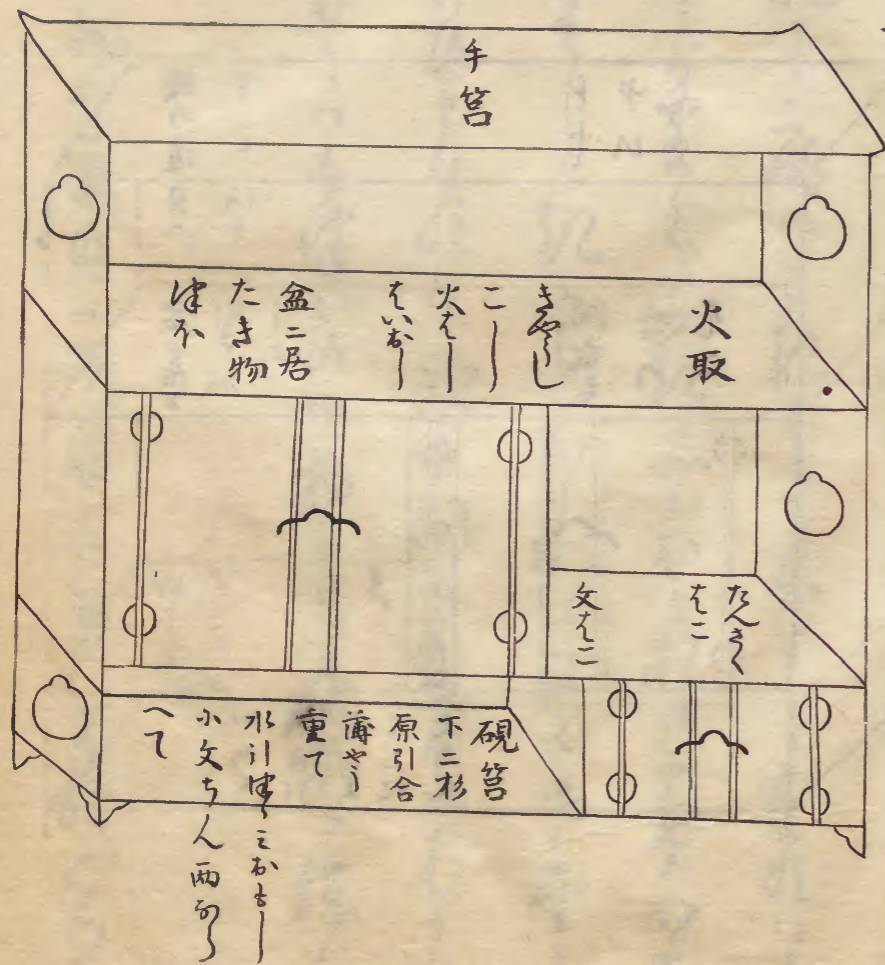
下畧 土 蔭繪并 蔭繪

寶子 蔭繪 古 蔭繪 十 十

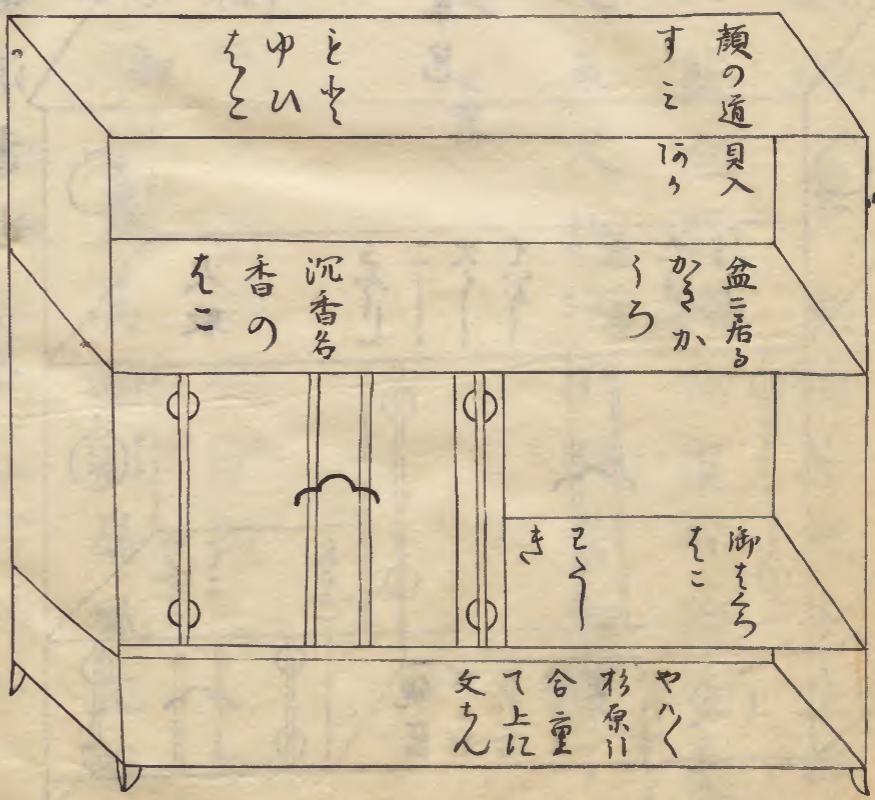
武家御厨子黒棚

婚義大躰伊勢流書也

御厨子



黒棚



一 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 二 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 三 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 四 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 五 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 六 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 七 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 八 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 九 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。
 十 黒棚の道具は、顔の道具、すこ、かきか、沉香、香の、御もろ、そこ、やう、杉原、合重、て上、文。

一 兩津——家の三——の田親音成る置かして秘之
えはれより中人の言ふく人あは女中の信作めうれは
仏さゆいもあはれん候と——あはれぬくはてかあはれ
あはあらは——又あはれぬくと成り入る候あはれ
かたはあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも——の内
入らぬ

一 棚のあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも

日のついでに井のついでにをましくとうおはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも
あはれぬくもあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも

くはれぬ

徒然草 上 鯉のあはれぬくもあはれぬくもあはれぬくも

棒壺

延喜内匠式 伊勢初齋 上畧 棒壺二口 各周一尺九寸 高六寸

柄二枝 尺各長 料槻一枚 長三尺 厚七寸 下畧

同 賀茂初齋院 上畧 銀棒壺 加平文柄 下畧 並野宮裝束 並志部

刀子筥

延喜内匠式 年料草筥廿合 中畧 刀子筥一合 長一尺二寸 廣一尺 深一寸二分 下畧

鏡

延喜内匠式 御鏡一面 方七寸 料熟銅 大四斤 下畧

唐鏡

續古今和歌集 神祇 白川院の御時あゝとる外此事

の宮へ奉侍しし切りの裏に書付侍りたる

左京大夫顯輔

延喜内匠式 御鏡一面 方七寸 料熟銅 大四斤 下畧

唐匣

延喜内匠式 唐匣 方七寸 料熟銅 大四斤 下畧

延喜民部式 下 年料別貢雜物 喜伊豫國 管檣柳

櫛二百枚 牛皮三

張斐紙麻一百斤 江家次第 東宮御 喜二階南立唐匣 有臺以 置上

層有面脂口脂第二層有櫛四枚刷二鐫刀第三層

有色紙等第四層有續紙等紙櫛巾 永保入

髮剃

新猿樂記四御許者 喜 鍛治鑄物師並銀金銅細

工也一佩小刀太刀伏突鉾劔髮剃矢尻 下喜

手巾用紙

台記仁平元年八月十日春日詣家司日向守有成

朝臣供水五位三人役之 時政執盥仲行執匣為

之 手巾置折敷盥漱了撤

巾筥

延喜内匠式年料草筥廿合 喜 巾筥二合 各方一

分 深八

唾巾筥

延喜内匠式賀茂初齋院並野宮裝束 喜 櫛机一
具 長一尺五寸廣一尺料波多板一枚檜樽半材阿膠
十兩 喜 漆一件二合 喜

梳

延喜内藏式年中所造御梳三百六十六枚 御料百枚

枚中注 神今食新嘗等料各
宮料 畧 二枚皆用由志木

篋子

江家次第 東宮御 喜 第二層納櫛二 篋子一 婆佐

羨 一 下喜

字彙篋邊迷反竹器竹爲之去髮垢

刷

江家次第 御元 喜 大臣進皇帝前小左跪理御冠

可用唐 匣中刷 同 東宮御 元 服

喜 第二層有櫛四枚刷鐸刀 下喜

櫛手巾

玉葉嘉禎四年四月 忠家 元 服 喜 次置雜具冠 喜 冪

休是日今麻呂加元服下畧

大舍人助源雅奉仕總角此間法皇使左近將曹泰

兼中畧宮内權大輔俊光置汨坏散位長雅置櫛巾

以香爲内以濃爲外餘時例也次中務大輔教良少納言教宗執指

燭了

同久安六年正月四日天皇御元服中畧層南置唐

匣註畧下懸子置櫛二枚畧綾打櫛巾面黑裏色爪

刀一指

玉海嘉應三年正月三日天皇御元服先取出櫛巾

巾在唐匣身開置大床上表香是檜皮

汗手巾

雅亮鈿上畧あせなゝい汝うく甚ふ唐綾のら人をか

りしあをぬき中よぬいめありそのぬいめをあうらふ中

とう小してあのほと残とりあそめしひまりくニ

よへさふ又ひきくくく下畧

盥

說文盥音貫一澡手也字從臼水臨皿也楊氏漢

語抄云澡盥比多良俗用手洗二字

匣椽

和名鈿三澡浴具匣說文云和名波途佐布柄中有道可以注水也俗用椽字所出未詳但和名之義或說云有柄半插其內故為半插也

浴槽

延喜木工式カレアラフ子沫槽長三尺廣二尺一寸深八寸 畧浴槽長五尺二寸廣二尺五寸深一尺七寸厚二寸 下畧 和名抄澡浴具楊氏漢語鈿云浴斛由布襪下音胡谷反

江家次第

中和院神今食御裝束

件御湯殿無抄御湯殿西壁

設樋傳御槽樋口壁外居斗御槽能蓋

生絹邊代布

後醍醐年中行事六月十一日御神事一日より始り

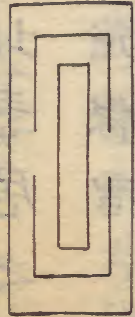
畧御湯まひり御舟少くも也

ちひの口より七畧

神殿の方より七度是成畧

玉葉承元三年五月廿三日御湯殿始次進御槽一

隻長三尺八寸弘二尺七寸在臺物槽内有踏板地絹三幅長七尺



をこころひあらぬやうに心得て炭成つむくまのり八幡の御
幸に供奉の人淨衣成さして手て炭成さし礼多きハある
有識の人白き物成ささる日ハちとて一線用らるる

玉海建久元年十月十七日 暮 宇治御幸御座前
北居御火桶一口 頗有積炭 臨渡御期 下暮
也 風流生火也

燈樓

紫式部日記かく國のあやもてさハくれ給ハ暮ち
いさねとら成御丁れとらにひあれハくもあまこい

〜〜御いらあひのそ〜〜も〜〜く〜〜下暮

宣胤卿記永正元年七月十四日 壬寅晴燈樓一 中水
蟹屋上鳥有人拵 拔解東坡詩 怒 進内裏御悦喜之
移水中蟹愛及屋上鳥有本文

由御返事
同十七日 乙巳晴 自内裏賜御燈樓 山月有唐人放
白鵬三體詩

竹燈臺 銅燈臺

西宮記 佛名物 儲 竹燈臺 二 基金銅油瓶 一口 銅燈臺
七本 黒打敷 十一枚 油杯 十一貝 箸 十一 燈樓 四口

燈臺 並 打敷

三中口傳燈臺打敷事淺黄色面生裏練
有識抄中御門家藏書寢殿可然事アヲハ中御門廊ノ燈
ハ三網役也公卿座又人既著夕ヲハ同前可カ勤仕也
兩所共非晴者蜜々侍何事有哉於殿上者雖何時
侍勤之立燈臺ハ上臈打敷次臺寂未油器也シ夕
カハラケ重而可置也打敷ハ非莊嚴之義夕、ア
フヲコホサシ料十リニカレハ雖晴シカラサレ
ハ敢非轉倒カ雖其座セハクハ四方二千イサクヲリテ
可敷十リ箱二居ルハ内々ノ事十リ打敷ハ貴賤

ヲ不嫌可敷也計五出此去不計其由所由

栗形

雜要鈔五節所裝東料雜事 喜次鋪設並御調度等渡之燈
三口同料栗形三股燈臺打敷火桶火櫃等渡之

佛文指油竹取

山槐記永曆元年十二月廿四日佛名次藤中納言召

藏人被指油事藏人二人一人取脂燭一人取油叅

入竹形

蠟燭

鎌倉年中行事御所造並御新造之御移徒之樣體

事 喜 松明紙燭本也然者長春院殿樣御代御徒

移之時者蠟燭也松明云字依御祝言如此書由先

達宿老被申上也 喜

獸炭

名月記嘉祿三年正月十九日 喜 自二品親王給

獸炭三十籠故僧正如此芳志不忘往事由被仰畏

申

千載和歌集

刑部賴輔母

秋の跡とて被とささるる人けり獨ハて記成るるかひあり

後奈良院震記天文四年三月十五日 喜 青蓮院

梶井宮曼殊院被叅大典侍一ノ夕一ノイ儿曇花院

蓮物一貝給又鳥帚二給

行李

日本紀 欽明天皇廿一年秋九月 畧 調賦使者
國家之所貴重而私議之所輕賤行李者百姓之所
懸命而選用之所早下 下畧

印詠

應永十五年三月八日北山行幸記十四日 畧 崇
賢門院へも行幸あり 畧 女院御存の人のまじり
御命の回しを御あり物も御小そそ
十重の河にかほへ三すて糸をせらる下畧

象形金物

江家次第 賀茂 畧 當日早且御湯殿次御覽神寶
其儀對東第二渡殿柱曳網物 付象形金 懸舞人陪從
等裝束

道文

康富記 康正元年八月一日甲辰 叅殿下 八朔御禮
進上方々 畧 清三位殿枕一双 檀紙十帖 返金覆
輪一胡銅水入一道 芝一以上三種

神一匹隨奉八一...
夾管

江家次第直物 喜參議乍候大臣前放之有夾竿管
枚枚所放出也 喜

喜張兒

禁秘鈔可遠九 喜賤事 喜内々習禮等白地主上不為臣

下高倉院時張兒為主上不吉事也云云況御身
為臣下大禁事也 喜

喜唾壺

延喜内匠式賀茂初齋院並野宮裝束喜銀唾壺

一口徑八寸五分料銀小七十八兩炭二斗下畧

台記久安六年正月四日天皇御元服其二階下層

西置唾壺有管

事紀原第八西京雜記廣川王發魏襄王家得玉

唾壺蓋此物戰國時已有其制也

虎子

延喜内匠式雕木一脚長一尺七寸廣一尺三寸高一尺一寸木工寮作之樋

一合 高九寸 徑九寸五分 席子一合 料漆二升 四合 雕木八合 櫃一件 二

四合 席子

和名 抄具坐卧 褻器周禮注云 褻器褻音思 列反 謂清器虎

子之屬也 今按俗語虎子於保都保清器師乃波古

類聚雜要 鈔被加以前御調度外御物 夏 暑 席子

宮其體四方下有牙綠蓋也 又有臺 云云 以上物等

紫檀地螺鈿或蒔繪或加螺鈿以金銀白臘等為置

口筋等物無定樣只在意畧耳以枕宮置帳內枕上

虎子宮置御帳跡方隱取 云云 暑香壺宮等納物

虎子宮事等依右府御說取 注載也 下暑

假名裝束抄 とやひさし 暑 おひ のを

いあとのありあし いし 冠の これ 大 さき 角 うり

此 あり 冠の いし 大 さき 角 うり

あ さき 角 うり 此 と 大 さき 角 うり

の と 大 さき 角 うり 此 と 大 さき 角 うり

丁 の 大 さき 角 うり 此 と 大 さき 角 うり

増鑑 り 大 さき 角 うり 此 と 大 さき 角 うり

御 を 大 さき 角 うり 此 と 大 さき 角 うり

之 を 大 さき 角 うり 此 と 大 さき 角 うり

紙 を 大 さき 角 うり 此 と 大 さき 角 うり

後漢書第九 轅帝 喜 改昭寧為永漢 喜 秦丞相史

之侍中分掌乘輿服物 下至褻器虎子之屬 下喜

同 注 搜便藝器戟子張又曰虎子

同 十二 疾病安小便曰搜淳意

西京雜記四 漢朝以玉為虎子以為便器使侍中

執之行幸以從以武都紫泥為璽室加綠綵其上

字彙虎子子搜器西京雜記李廣射獵冥山之北

見伏虎射之以其頭為搜器今鑄銅象之示服猛

也

同頭書博厭也尿小便也

小便筒

右記一錐為昵迫无以侍者以禪侶令取小便筒有

憚事也大御室藝習御記有之細處御共猶不苦 云

云然而自无人之持侯御共之事可有之有其人之

時不思寄也

筒竹

海人藻芥水瓶入手洗力者持之鼻廣居柙宮持之

筒者竹二許切上節削口四五寸計下以紙張也是

白丁仕丁相漆傘持之

西正衣袴下衣袴

武人帶刀掛腰以平腰刀者林之身與武人者

同 舊林者武人者

同 舊林者武人者

同 舊林者武人者

同 舊林者武人者

同 舊林者武人者

同 舊林者武人者

同 舊林者武人者

同 舊林者武人者

同 舊林者武人者

寶石取書卷第七十八

雜記

雜記

雜記

雜記

雜記

雜記

雜記

雜記

雜記

雜記